

清風クラブ

質問者

平間 正治

中野 重則



持ち時間90分

市長公約の早期  
実現と地域の  
活性化を!!

◆0～2歳児の保育料無償化について

**問** 市長は選挙公約の目玉として、0～2歳児の保育料無償化を掲げている。現在、どのような進捗状況であるか。また、0～2歳児の状況、無償化した場合の財政的影響額、そして今後のスケジュールについてお示しいただきたい。

**答** 0～2歳児については、本年6月1日現在で1303人おり、市立保育園、民間保育施設合わせて入園児童数は593人で、約46%となっている。先般行ったアンケート調査では、60%が入園させたい意向であり、さ



3歳未満児保育

らに増加する可能性がある。

財政への影響としては、市の保育料の減収が約1億2千8百万円、民間保育施設への補填が約3千3百万円であり、さらに保育施設の増設や保育士の人件費が増額となる。また、スケジュールについては、現在、「子ども子育て推進チーム」で議論しており、本年の秋頃までには方向性を決定する。

(こども課)

**要望** 財政への影響額が大きく、その財源確保や特に保育士の新たな採用が課題となる。また、家

庭保育の世帯との均衡も必要であり、しっかりとした制度設計をしてほしい。

◆物価高対策について

**問** 現在の物価高に直面し、多くの家庭が支出の抑制に努めている。とりわけ高齢者世帯や年金生活者は大変厳しい家計のやり繰りとなっている。その負担軽減のため、市民全体に行き届く市独自の支援として、水道料をはじめ、ごみ袋代、市役所窓口手数料などの引き下げを行ったらどうか。

**答** 現在の水道料金は、令和元年10月に引き上げ改定した。今後の経営見通しは、水道施設の維持管理費の増加が見込まれ、現時点での引き下げは困難である。

ゴミ袋代については、

現在県内で19市中15市が有料である。今後、ごみ袋のサイズなどの検証を行いながら、見直しについて研究していく。

窓口手数料については、今後オンラインシステムにより効率化される予定であり、現時点での引き下げは考えていない。

(上水道課、生活環境課、市民課)

**要望** やろうとすれば出来ることであり、市民のために市として積極的に取り組んでほしい。

◆大門地区の活性化について

**問** かつては中心市街地として栄えた大門地区も時代の趨勢の中で空洞化や衰退が進んでいる。さらに少子高齢化や人口減少が進み、空き家、空き地の増加を始め様々な課題が生じている。

また、大門商店街については、残念ながら賑わいが消失しつつある。市としてこの現状を踏まえ、今後についてどのように考えているか。

**答** 大門地区の活性化については、これまでのま

ちづくりの経緯を継承しつつ、魅力あるまちとなるよう進めて行くことが大切と考えている。

また、大門商店街については、関係機関と連携し、建物所有者とのマッチングや民間活力導入を促進していく。

(都市計画課、産業政策課)

**要望** 商店街を含む大門地区の活性化は、喫緊の課題である。地域住民、商店街の皆さんはもとより、専門家や有識者も加わった検討会を設け、大門地区の将来について真剣に議論してほしい。



活気ある商店街に